地球といのち

科目ナンバリング　EDU-104
選択必修　　2単位

前島　正明

1. 授業の概要（ねらい）

地球という惑星の誕生から現在に至る生命の変遷を学び、生命とは何か、また、生命と地球の歴史とのかかわりや生命の多様性を理解する。
また、現在起こっている様々な地球規模での環境問題について、自然科学的なメカニズム、その歴史と現状、社会的な対応を学ぶとともに、人間の活動が地球環境に与える影響について理解を深め、持続可能な発展はどうあるべきかを考えていく。

2. 授業の到達目標

（1）地球の誕生から現在に至るまでの生命の変遷、生命の多様性を理解し説明できる。
（2）人間の活動が地球環境に与える影響、環境問題について理解し説明できる。
（3）地球環境の保全、持続可能な開発をどう進めるべきか論ずることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加状況や課題レポート等（50%）、期末試験（50%）を総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
特定の教科書は使用しない。
参考文献
必要に応じて資料を配布する。

5. 準備学修の内容

・様々なメディアで扱われている環境問題や持続可能な開発目標（SDGs）にかかわる情報について、興味・関心をもち、収集・分析に努める。

6. その他履修上の注意事項

・21世紀を生きる社会人として、地球・生命・環境について広い視野を身につけるため、授業に意欲的に参加してくれることを望みます。授業のシラバスや課題は必要に応じて調整しますが、詳細は授業でお伝えします。

7. 授業内容

【第1回】　授業に関するオリエンテーション
【第2回】　宇宙の誕生と進化
【第3回】　地球の誕生と生命の起源
【第4回】　生命の進化と多様性
【第5回】　人類の誕生
【第6回】　人間の活動と環境問題　「沈黙の春」
【第7回】　地球温暖化
【第8回】　オゾン層の破壊
【第9回】　酸性雨とPM2.5
【第10回】　化学物質による環境汚染
【第11回】　生物の多様性の衰退
【第12回】　資源・エネルギー・人口・食料と環境
【第13回】　エネルギーの有効利用・新エネルギーと環境保全
【第14回】　日常の生活と地球環境への負荷
【第15回】　持続可能な開発を目指してSDGs